日本ペット用品工業会

「統一表示適合品証マーク」の普及活動に注力

赤津功一会長インタビュー

日本ペット用品工業会（略称・JPPMA）は、安全かつ高品質なペット用品の製造販売と普及に努めるもとともに、ペット文化の啓蒙・育成に取り組んでいる。赤津功一会長（トーラス会長）に同工業会の最近の活動状況について話を聞いた。

＊　＊　＊

――最近の貴工業会の活動状況について。

「『安心安全』とよく使う言葉だが、正しい言葉の使い方ではない。『安全安心』が正しい。この商品は『安全で安心です』と言われても、お客様がその商品を『安心』と思うかどうかわからない。即ち、お客様が『安全』という商品にどこまでの『信頼』をおけるかどうかで『安心』かどうかが決まる。式で言えば『安全×信頼＝安心』である。

そこで、当工業会は、自主基準でペット用品を対象に原産国、成分又は原材料、使用方法、注意事項等について事業者が表示すべき事項を定めた『ペット用品統一表示ガイドライン』（A4版全242頁、バインダー綴じ、1冊1万円（税、送料別）、会員価格は3000円（税、送料別））を発行している。この自主基準『ガイドライン』があることは、日本のペット文化の成長成熟を示す何よりの証左と思っている。

同ガイドラインは、消費者が商品の購入に際し、適切な情報を受け取ることができるように考えたもので、消費者利益の保護とペット用品の品質向上を目的とし、犬、猫、観賞魚、小鳥、小動物、昆虫、爬虫類の各分野の用品カテゴリー毎に、表示規定と表示例を記載している。

そして、同ガイドラインに基づいて、当工業会が策定した規格・基準に則った情報を適切に表示しているペット用品に対して当工業会は『統一表示適合品証』を発行し、この統一表示適合品証を取得したペット用品は『統一表示適合品証マーク』を商品に表示することができる。

今は、誰もが個人個人でモノを作ることができる時代で、それぞれが思い思いのラベルを作り、ラベル表示の仕方がバラバラであったら、お客様は買い物をするとき、他社商品との「比較」が出来ず混乱をし、また、商品を買わないという選択をすることも考えられる。

しかし、商品特長や、商品の使用方法、原料内容、注意事項等、ラベルに表示すべき情報の表示の仕方が統一されていたら、お客様はその商品について理解がしやすく、より快適に買い物をすることができる。このことが何よりも消費者利益を守ることになる。

また、統一表示適合品証マークがついている商品は、当工業会がこの製品は安全、安心なものであると認めたものであるので、より多くの消費者に統一表示適合品証マークがついている商品は『安心して購入できる製品』と認知していただくことを目指している。

――今年から展示会「ジャパンペットフェア」の開催を中止し、展示会「インターペット　～人とペットの豊かな暮らしフェア～」（以下、インターペット）を共催されました。

「ペット産業をより発展させるため、ペット人口を増やすためにどうかを考えた時に『インターペット』と『ジャパンペットフェア』の2つの展示会に分かれているのは、メーカーの体力を消耗し分散させてしまい、決して良いことではないと思っていた。

そして、これから世界に冠たるインターペットに成長しうる為には、奇策はなし。『未来の大人（子供たち）』をどこまで呼べるかに尽きる筈だ。プロの集団に運営を任せ、フード・用品の業界がペット産業の永続性を求めて一致団結をすべきと思う。

犬の減少が指摘される中で、増やすにも奇策はなく、子供たちの声が多く聞こえるインターペットに変化進化させることが、今から将来のペット人口を増やす遠回りのようで早道であろうと思う。

インターペットにペット用品工業会の強みが加わることにより、インターペットの商品の出展カテゴリーにより厚みが増し、より存在感のある強い展示会になると思っている。生きものに触れなくても見るだけでも、オールペットのインターペットこそこれからの国際規模のイベントに成長する早道だと思う」

――貴工業会は海外での取り組みにも力を入れています。

「当工業会は、台湾のペットフード・ペット用品の業界団体と友好関係を結んでいる。

その取り組みの1つとしては、今年は台湾協会の方々が3月に開催したインターペットの見学に来られ、また、日本からは当工業会の理事有志が7月に台湾で開催される商談展示会の視察に行き、お互いに両国の協会の発展に努めている。

そのほか、当工業会は、中国・広州市で開催される商談展示会に協賛している。

6月15日に中国のバイヤーが来日し、そのイベントに当工業会の三役も参加した。そして、日本企業はその展示会に出展し、中国市場の開拓につなげる。

これからの中国市場は非常に有望な市場であり、その中国市場を開拓していくことは更なるペット産業の発展につながると見ている。

私共もペットの適正飼養を推進し、ペット総人口を拡大させ、人とペットの共生社会の実現へ向けて全力を尽くしていく」

◎統一表示適合品証マーク

日本ペット用品工業会会員＝参加登録料、マーク使用料：無料▽同工業会未加入の企業＝参加手数料、登録料：1企業30万円、3年間有効、マーク使用料：1企業20万円、3年間有効

統一表示適合品証マーク

当工業会に属するメーカー商品だけでなく、ペットの卸店、小売店のPB商品にも、米欧、中国などの海外商品も、全てのペット用品に統一表示適合品証マークをつけてもらいたいと思っている。

より多くのペット用品に統一表示適合品証マークをつけてもらい、お客様に安全安心を提供することがペット産業を発展させる一番の土台となると考えている」

――統一表示適合品証マークの認知活動について。

「卸店の会合や、ドラッグストア、ホームセンター等の各業界団体の会合に出席をしたり、適切なマスコミ媒体を活用したりして、『ペット用品統一表示ガイドライン』と『統一表示適合品証マーク』を紹介している。

特に、ペット用品を取り扱っている流通業者の方には、「統一表示適合品証マーク」がついている商品を仕入れてほしいとお願いしているほか、統一表示適合品証マークをつけていない商品を販売しているメーカーに対して『ペット用品に統一表示適合品証マークをつけていただきたい』と提案してもらうことをお願いしている」

――この他にも貴工業会は様々な活動に取り組んでいます。

「当工業会は、業界の方から飼育者まで、ペットに携わる人がペット用品について正しい知識を身につけるための資格試験『ペットライフアドバイザー』や、ペット用品取扱士検定試験』や、ペット用品の生産・出荷金額などを調査する『ペット用品産業実態調査』を実施している。また、以前から卸店や小売店を主とした賛助会員制度を設けていたが、有名無実であった。そこで、今年から賛助会員になるための要件を明確にして、賛助会員の募集活動に力を入れ、僅か2カ月で賛助会員が4社となった。今後も賛助会員の数を増やしていき、当工業会のすそ野を大きくしていきたい」